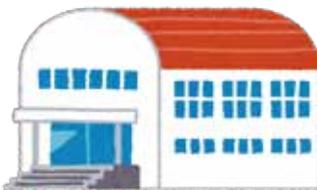
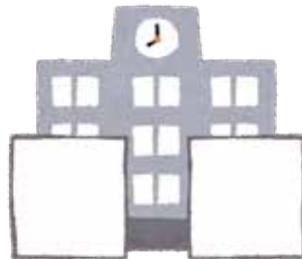
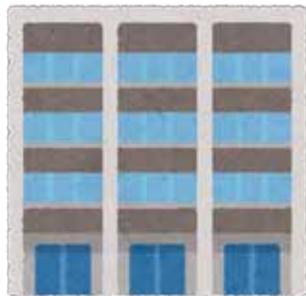




佐藤 高清 議員
市政会

問 公共施設マネジメントの今後は

答 ワークショップ・説明会を開催



問 公共施設マネジメントについて以下問う。
市民参画の取り組みは。
答〔総務部長〕今年3月までに「公共施設を考えるワークショップ」を3回開催。更には10月には市民向け説明会とパブリックコメントを実施。

問 議会への説明は。
答 9月頃を予定。
問 専任部署設置に向けての取り組みは。
答 来年度から企画政策部門を独立。

問 「中期財政計画」の分かりやすい市民開示を。
答〔総務部長〕広報などで分かりやすく伝える。
問 財政についての市民ワークショップを開催しては。
答 「財政一」の出前講座があるので活用を。
問 中期財政計画と新聞などでは認識に乖離がある。市の見解は。
答 財政状況は厳しいということを今後も広報などで周知していく。
問 財政調整基金の残高はいくらが適正か。
答 最低限10億円は必要。
問 5年後はいくらの予定か。
答 現状維持を目標とする。

問	財政状況 黒字化を目指せ
答	公共施設の統廃合 が喫緊の課題

問 直近5年間の実質単年度収支の赤字の原因は。
答 増加する社会保障費や新庁舎建設事業に伴うもの。
問 黒字化の具体的手段は。
答 公共施設再配置計画に基づき、公共施設の統廃合を推進していく。
問 企画部門と財政部門の一元化を。
答 それぞれが重責を担うため、連携しながら取り組む。
問 行財政アドバイザー制度を導入しては。
答 既に導入の検討を行っており、地方財政に精通した学識者をと考えている。

◆【その他の質問】
市内県道について